アジア国際法学会日本協会第6回研究大会 - 2015年6月14日(日) 立命館大学衣笠キャンパス-

第6回目の大会となる今大会のテーマは「戦後責任と武力紛争・植民地支配の被害者への補償」です。戦争(武力紛争)後の責任の問題を、国家間関係および国家対個人の関係(被害者への補償および責任者の追及を含む)の2つの視点から扱います。考察対象に日本、中国、韓国は当然入りますが、それらに限定せず、ドイツ(ドイツ対イタリアICJ判決)、イタリア(憲法裁判所の裁判権免除に関する判決)、イギリス(植民地時代の拷問を理由とする英国政府のケニア住民への補償)、イラク(国連補償委員会を通じた湾岸戦争被害者への補償)なども含めます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

【午前の部:10時00分~12時30分】

テーマ

日本の戦後責任と被害者補償

座長

浅田正彦(京都大学教授)

報告者

・五十嵐正博 (神戸大学名誉教授) 日中・日韓関係における戦後責任と被害者補償 ―人間の尊厳を求めて

・管建强 (華東政法大学教授)日中関係における戦後責任と被害者補償

・殷勇基 (東京千代田法律事務所弁護士)日韓関係における戦争責任・戦後責任・植民地責任と被害者補償

使用言語 日本語

【公募報告:14時30分~15時20分】

テーマ

20世紀における戦後平和構築の転換と 21世紀における戦後責任に関する考察 一思想、諸原則、実践

座長

宫野洋一(中央大学教授)

報告者

小菅信子 (山梨学院大学教授)

使用言語 日本語

【午後の部:15時30分~18時00分】

テーマ

Issues Concerning Postwar Reparations and Remedies for Victims (戦後補償と被害者救済をめぐる諸問題)

座長

阿部浩己(神奈川大学教授)

報告者

·水島朋則(名古屋大学教授)

War Crimes, Crimes against Humanity and State Immunity: Some Remarks about Germany v. Italy (ICJ, 2012) and the Judgment of the Italian Constitutional Court (2014)

- ・Alexander Orakhelashvili (バーミンガム・ロースクール講師)
 Compensation for Colonial Wrongs: National and International
 Legal Perspectives
- · 鈴木五十三 (古賀総合法律事務所弁護士)

Activities of the UN Compensation Commission in Dealing with the Losses and Damage Caused by the Gulf War

使用言語

英語(和訳資料を配付します)

【レセプション(18時15分~20時00分)創思館403・404教室】

開催日時・開催会場

- 日時: 2015年6月14日(日) 10時~18時
- ●会場:立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム (〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1)



衣笠キャンパスへのアクセス

- JR·近鉄京都駅 (烏丸中央口)より京都市バス・JRバス立命館大学前
- 京福電鉄 嵐山本線・北野線 龍安寺駅・等持院駅より徒歩6分

ご案内

(1)登録方法

アジア国際法学会日本協会会員の方は、5月上旬にお送りする返信用葉書にて、ご登録ください。会員でない方は、日本協会ホームページより6月7日(日)までにご登録ください。ホームページでの登録受付は、5月上旬に開始します。

(2) 傍聴料

アジア国際法学会日本協会会員ではない方は、会場にて傍聴料1000円を申し受けます。ただし、日本協会団体会員にご所属の方およびアジア国際法学会会員の方は、いずれも無料です。

(3) 申込・お問い合わせ

アジア国際法学会日本協会ホームページ http://asiansil-jp.org/ よりお願いいたします。

















SPONSORS

ANDERSON MŌRI & TOMOTSUNE

森·濱田松本法律事務所 Mori Hamada & Matsumoto 弁護士法人 大江橋法律事務所 OH-EBASHI LPC & PARTNERS 長島·大野·常松 法律事務所 NAGASHIMA OHNO & TSUNEMATSU



TMI総合法律事務所

Uryu & Itoga

弁護士法人 瓜生·糸賀法律事務所

桃尾·松尾·難波法律事務所 MOMO-O, MATSUO & NAMBA





